

平成28年度
事業計画書

新潟市南区社会福祉協議会

【基本方針】

第2次「南区地域福祉計画・地域福祉活動計画（アクションプラン）」の基本目標「人と人がふれあい、安心していつまでも暮らせるまち」、つまり、共生社会を目指し、個別と地域の支援を一体的に進めることで、地域の受容力を高め、住み慣れた南区で安心して生活できるよう、支えあいのまちづくりを進めてまいります。

今年度、南区社協では地域包括ケアシステム構築のため、新しい総合事業の制度設計が進められるなか、社協も協議体に積極的に関わり、介護予防・生活支援部門において、地域住民や各種団体等とともに高参加・高福祉のまちづくりを目指します。

【重点目標】

1. 地域包括ケアシステム構築

① 協議体への積極的な参画

- ・地区毎の社会資源を再確認します。
- ・地域福祉活動計画にある地区の課題解決に向けた取組を協議体構成団体とともに進めます。
- ・住民の主体的な活動を支援するため、生活支援コーディネーター、ボランティアコーディネーターの業務連携を図ります。また、内外部の関係職員（コミュニティソーシャルワーカー、地域包括支援センター職員、地域生活センター職員等）と連携協働します。

② 見守り活動の支援

- ・支えあいマップづくり等を活用し、「どのような人を見守り対象とするのか」「誰が気に掛け、声を掛けるのか」地域住民とともに考え、地域の実情に合った見守りシステムを構築します。また、住民だけでなく、その地域の事業所（新聞販売店、薬局、ヤクルト販売、消防等）にも協力をいただき、重層的な見守り体制の構築を目指します。
- ・地域での見守り活動の標語などが記載された回覧板を作成し、それを自治会町内会で活用いただくことで意識醸成を図り、身近な小単位の見守り活動を促進します。

③ ネットワークづくり

・地域包括ケアシステム構築に向け、地域での助け合い活動、ボランティア団体、住民参加型福祉サービス団体、サロンやお茶の間等、多種多様な組織団体が集まる場づくりを進め、情報交換や交流を図ります。

④ サロン支援

・地域の茶の間やサロンの世話人不足が課題となるなか、世話人や助成金がなくても運営できるモデルサロンを構築し、推進を図ります。

2. ボランティアセンター・市民活動センターの充実

① あらゆる人の社会参加を支援（福祉教育）

・学校だけでなく、運送業やタクシー会社等の企業を対象にした視覚障がい研修会を実施します。

・サマーチャレンジボランティアを中高校生対象に実施します。

・区内の民生委員を対象にボランティア活動研修会を実施します。

② 災害ボランティアセンター運営事業（協働の推進）

・行政、青年会議所、商工会、日赤等との定例会を開催し、平時から協働できる関係づくりに努めます。また、災害ボランティアセンター初動訓練を実施し、連携や互いの役割の知識を深めます。